

平成 19 年度

布目ダム定期報告書（案）

平成 20 年 3 月

独立行政法人 水資源機構 関西支社

布目ダム定期報告書(案) 目次

1. 事業の概要	
1.1 流域の概要	1-1
1.1.1 自然環境	1-1
1.1.2 社会環境	1-10
1.1.3 治水と利水の歴史	1-15
1.2 ダム建設事業の概要	1-26
1.2.1 ダム事業の経緯	1-26
1.2.2 事業の目的	1-27
1.2.3 施設の概要	1-28
1.3 管理事業の概要	1-33
1.3.1 ダム及び貯水池の管理	1-33
1.3.2 ダム湖の利用実態	1-34
1.3.3 流域の開発状況	1-35
1.3.4 流況	1-42
1.4 ダム管理体制等の概況	1-45
1.4.1 日常の管理	1-45
1.4.2 出水時の管理	1-55
1.4.3 渇水時の管理	1-60
1.5 文献リストの作成	1-67
2. 洪水調節	
2.1 評価の進め方	2-1
2.1.1 評価方針	2-1
2.1.2 評価手順	2-1
2.1.3 必要資料(参考資料)の収集・整理	2-2
2.2 洪水調節の状況	2-3
2.2.1 氾濫防止区域の位置	2-3
2.2.2 洪水調節計画	2-6
2.2.3 洪水調節実績	2-7
2.3 洪水調節の効果	2-34
2.3.1 水位低減効果の評価	2-34
2.4 まとめ(案)	2-39
2.5 文献リストの作成	2-40

3.	利水補給	
3.1	評価の進め方	3-1
3.1.1	評価方針	3-1
3.1.2	評価手順	3-1
3.1.3	必要資料(参考資料)の収集・整理	3-2
3.2	利水補給計画	3-3
3.2.1	貯水池運用計画	3-3
3.2.2	利水補給計画の概要	3-5
3.2.3	下流基準点における補給量	3-6
3.2.4	水道用水	3-8
3.3	利水補給実績	3-9
3.3.1	利水補給実績概要	3-9
3.3.2	ダム地点における利水補給の状況	3-15
3.3.3	発電実績	3-18
3.4	利水補給効果	3-20
3.4.1	下流基準点における利水補給の効果	3-20
3.4.2	利水補給の効果	3-28
3.4.3	渇水被害軽減効果	3-29
3.4.4	発電効果	3-31
3.4.5	副次効果	3-32
3.5	まとめ(案)	3-33
3.6	文献リストの作成	3-34
4.	堆砂	
4.1	評価の進め方	4-1
4.1.1	評価方針	4-1
4.1.2	評価手順	4-1
4.1.3	必要資料(参考資料)の収集・整理	4-2
4.2	堆砂測量方法の整理	4-3
4.3	土砂流入等の状況	4-5
4.4	堆砂実績の整理	4-6
4.5	堆砂対策の整理	4-9
4.5.1	副ダムの設置	4-9
4.5.2	浚渫の実施	4-11
4.5.3	浚渫土砂の有効活用	4-12
4.5.4	下流への土砂供給試験実施状況	4-15
4.6	まとめ(案)	4-21

5. 水質	
5.1 評価の進め方	5-1
5.1.1 評価手順	5-1
5.1.2 評価期間	5-2
5.1.3 評価範囲	5-2
5.2 基本事項の整理	5-3
5.2.1 環境基準類型指定状況の整理	5-3
5.2.2 水質調査地点	5-12
5.2.3 水質調査実施状況	5-14
5.3 水質状況の整理	5-18
5.3.1 流入河川及び下流河川の水質経年・経月変化	5-18
5.3.2 貯水池内水質の経年・経月変化	5-41
5.3.3 貯水池内水質の鉛直分布の変化	5-60
5.3.4 植物プランクトンの状況変化	5-75
5.3.5 水質障害発生の状況	5-77
5.3.6 貯水池の特性	5-79
5.3.7 底質の変化	5-79
5.3.8 健康項目の調査結果	5-82
5.4 社会環境からみた汚濁源の整理	5-83
5.4.1 流域の状況	5-83
5.4.2 人口・世帯数	5-85
5.4.3 就業者数	5-86
5.4.4 土地利用	5-88
5.4.5 産業	5-90
5.4.6 水洗化人口の推移	5-98
5.5 水質の評価	5-99
5.5.1 流入・下流水質の比較による評価	5-99
5.5.2 経年的水質変化による評価	5-108
5.5.3 冷水・温水現象に関する評価	5-113
5.5.4 濁水長期化に関する評価	5-116
5.5.5 富栄養化現象に関する評価	5-120
5.6 水質保全施設の評価	5-121
5.6.1 副ダム	5-122
5.6.2 曝気循環設備(浅層曝気)及び深層曝気設備	5-125
5.6.3 選択取水設備	5-145
5.6.4 表層曝気(噴水)設備	5-149
5.7 まとめ(案)	5-150
5.8 文献リスト	5-153

6. 生物	
6.1 評価の進め方	6-1
6.1.1 評価方針	6-1
6.1.2 評価手順	6-1
6.1.3 資料の収集	6-2
6.2 ダム湖及びその周辺環境の把握	6-20
6.3 生物の生息・生育状況の変化の検証	6-39
6.3.1 ダム湖内における変化の検証	6-40
6.3.2 流入河川における変化の検証	6-68
6.3.3 下流河川における変化の検証	6-93
6.3.4 ダム湖周辺における変化の検証	6-119
6.3.5 連続性の観点からみた生物の生息状況の変化の検証	6-145
6.3.6 特定種の生息・生育状況の変化の検証	6-151
6.4 生物の生息・生育状況の変化の評価	6-161
6.4.1 ダム湖内の生物の生息・生育状況の変化の評価	6-161
6.4.2 流入河川の生物の生息・生育状況の変化の評価	6-166
6.4.3 下流河川の生物の生息・生育状況の変化の評価	6-168
6.4.4 ダム湖周辺の生物の生息・生育状況の変化の評価	6-171
6.4.5 連続性の観点からみた生物の生息・生育状況の変化の評価	6-174
6.5 まとめ(案)	6-175
6.6 参考資料	6-178
【生物確認種リスト】	6-179
ダム湖内確認種リスト	6-180
魚類	6-181
エビ・カニ・貝類	6-181
底生動物	6-182
植物プランクトン	6-185
動物プランクトン	6-188
鳥類	6-191
流入河川確認種リスト	6-192
魚類	6-193
エビ・カニ・貝類	6-193
底生動物	6-194
植物プランクトン	6-197
動物プランクトン	6-199
鳥類	6-200
両生類・爬虫類・哺乳類	6-201
陸上昆虫類	6-202
下流河川確認種リスト	6-207
魚類	6-208

エビ・カニ・貝類	6-208
底生動物	6-209
植物プランクトン	6-212
動物プランクトン	6-214
鳥類	6-215
両生類・爬虫類・哺乳類	6-216
陸上昆虫類	6-217
ダム湖周辺確認種リスト	6-222
植物	6-223
鳥類	6-237
両生類・爬虫類・哺乳類	6-239
陸上昆虫類	6-240

7. 水源地域動態

7.1 水源地域の概況	7-1
7.1.1 水源地域の概要	7-1
7.1.2 ダムの立地特性	7-8
7.2 ダム事業と地域社会情勢の変遷	7-12
7.3 地域とダム管理者の関わり	7-14
7.3.1 地域におけるダムの位置づけに関する整理	7-14
7.3.2 布目ダム水源地域ビジョン	7-16
7.4 ダム周辺の状況	7-22
7.4.1 ダム周辺環境整備事業の状況	7-22
7.4.2 ダム周辺施設の利用状況	7-26
7.4.3 ダム及び周辺のイベント等の開催状況	7-27
7.5 河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果	7-38
7.6 その他関連事項の整理	7-41
7.7 まとめ(案)	7-46
7.8 文献リストの作成	7-47

～防災用語の使用について～

防災用語の中には、専門用語で用語自体の理解が難しい等の指摘があったため、国土交通省河川局に事務局を置いて「洪水等に関する防災用語改善検討会」を設置し、検討の結果、提言として「洪水等に関する防災情報体系のあり方について 平成 18 年 6 月 22 日」にとりまとめられた。

本定期報告書では、この提言による防災用語の改善後の用語・表現で整理することを基本としている。

ただし、一部の図表には改善前の用語・表現を使用した既存資料を活用しているため、下記対比表にて確認していただきたい。

【対比表】

改善前	改善後
直轄区間	国管理区間
ただし書き操作	計画規模を超える洪水時の操作
設計洪水位	設計最高水位
サーチャージ水位	洪水時最高水位
常時満水位	平常時最高貯水位
洪水期制限水位	洪水貯留準備水位

「洪水等に関する防災情報体系のあり方について(提言)
平成 18 年 6 月 22 日 洪水等に関する防災用語改善検討会」 より